

衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

平成 23.5.25 第 177 回国会第 6 号

5 月 25 日（水）第 6 回の委員会が開かれました。

1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

・玄葉国務大臣（科学技術政策担当）、仙谷内閣官房副長官、平野内閣府副大臣、笹木文部科学副大臣、大塚厚生労働副大臣、中山経済産業大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）原子力安全委員会委員長 班 目 春 樹君

（質疑者及び主な質疑内容）

河 井 克 行君（自民）

- ・福島第一原子力発電所事故への対応として、人体の内部被ばく線量、とりわけ子どもに対する調査の早期実施の必要性について、文部科学委員会や厚生労働委員会で質問してきた。その時から日が経っていて、被ばく線量の測定の日程は固まっているはずなので、その日程を聞きたい。
- ・SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）の試算が首相官邸に届けられたのは、1 件だけと報道されている。しかも、それは、菅内閣総理大臣が視察を決めた直前と報道されているが、その事実関係を確認したい。

馳 浩君（自民）

- ・東日本大震災を踏まえ、海域における高い精度の地震発生予測と津波の早期予知を実現するためには、科学技術の粋を集めて取り組む必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・ゲリラ豪雨の防災予測のためのエクスペンディMPLレーダーのよりきめ細かい配備や、防災チャンネルの開設によるリアルタイムの情報の伝達が必要と考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・有力な再生可能エネルギーとして挙げられる風力発電や太陽光発電を推進するため、蓄電池の開発が必要であるとする。そのための予算の配分が必要と考えるが、政府の見解を伺いたい。